

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第7号 水稻

発行日 平成23年 9月29日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

県内全域で刈り取り作業が進んでいます。刈り遅れは品質低下の原因となりますので、刈り取りがまだの方は早めに刈り取りをすませましょう。また、作業は計画的にすすめ、農作業安全に心掛けてください。

なお、大雨により稲が冠水・倒伏した圃場では、収穫前の圃場準備(排水、流入ゴミの除去等)、慎重な収穫作業(適切な作業速度、刈り分けによる品質確保等)を行ってください。

1 適期刈り取りの励行

刈り遅れるほど着色粒、胴割粒等の発生は多くなり、品質低下の原因となります。刈り取りがまだの方は早めに刈り取りを行いましょう。

2 浸・冠水圃場等の収穫対策

台風15号の影響により、稲が冠水したり濁流により倒伏した圃場が見られます。このようなところでは、以下を参考に対応してください。

(1) 刈り取り前の圃場点検

ア 水尻を止めたまま、或いはゴミにより排水口が詰まったままの圃場が無いかチェックし、刈り取り作業ができるように圃場準備を整えること。

イ 冠水した圃場には、流木、空き缶等のゴミが流入しているところが多く、事前にこれらのゴミを取り除いておくこと。

(2) 倒伏した圃場

ア 倒伏したままの稲の稈は切れやすく、コンバインが詰まりやすくなるので、作業速度はできるだけ遅くすること。

イ 穂発芽等により品質低下がみられる場合には、刈り分けをすること。

(3) 仕分け集荷

冠水や倒伏により泥が付着した籾は、異物混入を防止するためにも刈り分け、仕分け集荷し、十分な品質チェックを行うこと。

3 農作業安全

計画的に作業をすすめ、農作業安全に心掛けてください。

ア 圃場での移動、運搬の際の転倒事故や追突事故には十分注意すること。

イ コンバインにワラ等が詰まった場合には、必ずエンジンを止めてからこれらを取り除くこと。

ウ 夕方の事故が多いので、休息をとりながら焦らず、慎重な作業を心がけること。

農作物技術情報第8号は10月27日(木)発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間

農作業 無事故でつなぐ 明るい未来